

令和3年度自己点検・自己評価の結果概要

1 自己点検・自己評価の取り組みの経過

本校は、平成24年度に自己評価委員会を設置し、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・自己評価を実施している。平成30年度からは、学校関係者評価を実施し、外部の関係者からの評価及びご意見をいただき、学校運営に対する評価を行い、学校活動全般に関する質の向上を目指している。

また、令和2年度には点検項目の見直しを行い、指針に準じた大項目9に対する、本校の運営に即した小項目を69とし、評価基準を3段階から4段階に変更した。

2 自己点検評価等により課題とされた事項への主な取り組み

令和2年度の結果を受け、令和3年度は学校の組織目標に以下を組み込んで取り組みを行うこととした。

- (1) 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- (2) 地域社会における学校のあり方や活動を検討し、地域貢献できる。
- (3) 卒業生の活動状況を把握し看護基礎教育に反映できる方法を検討する。
- (4) 教員が授業準備のための時間をとれる体制を検討する。
- (5) 質の高い学生を確保するために、広報や入試について検討する。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも安全教育について具体的な検討を進めた。また、学校関係者評価の意見をもとに、卒業生の活動状況の把握を行った。第5次カリキュラムの構築や学内実習等で教員の授業準備時間の確保ができず次年度の課題となる。その他の事項についても引き続き取り組んでいくこととしたい。

3 令和3年度自己点検・自己評価結果

評価項目を大項目9、小項目69とし、4段階評価の評価基準により実施した。

評価時期は令和4年1月12日から2月28日までとし、令和3年度実施内容に対する評価を、教職員15名で行った。

評価結果

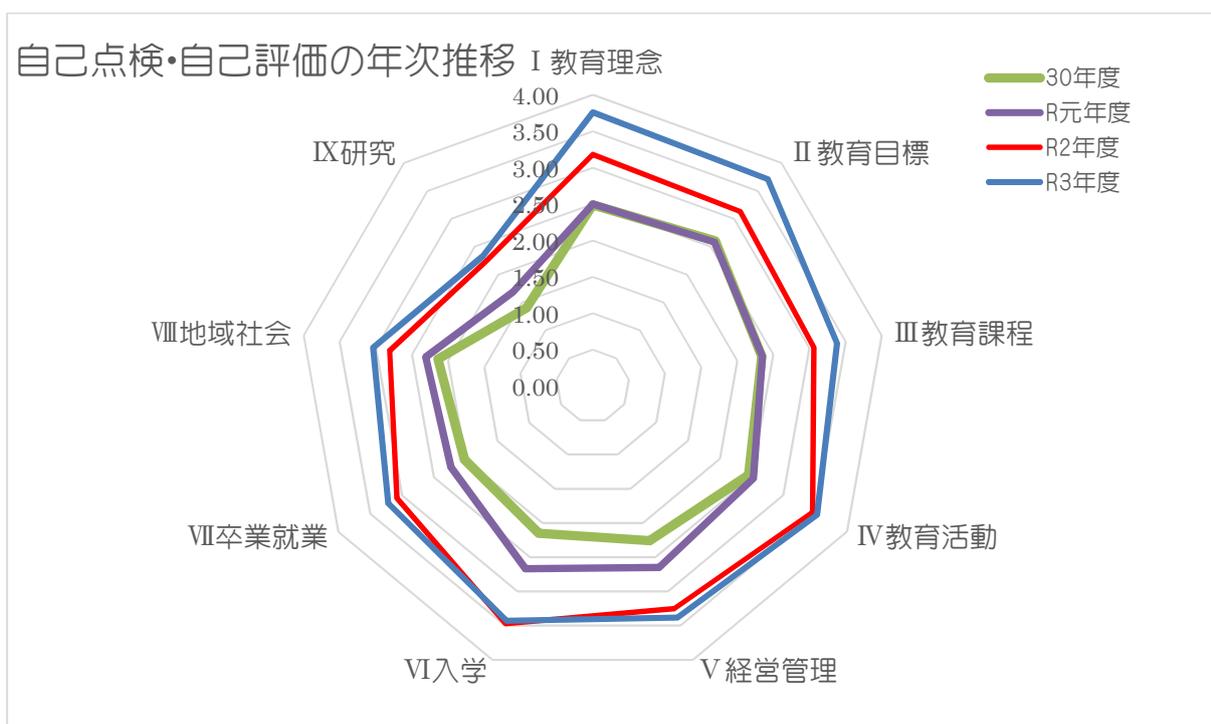
令和2年度から評価基準を3段階から4段階に変更した。

全体としては昨年度より平均点が上がり、特に新カリキュラムを構築できたことで、大項目ⅠⅡⅢが上がった。Ⅸ研究が低い傾向は変わらない。

表1 年度別の評価集計結果

大項目	R3年度	R2年度	R元年度	30年度
I 教育理念・教育目的	3.76	3.18	2.50	2.49
II 教育目標	3.71	3.13	2.58	2.60
III 教育課程	3.38	3.06	2.35	2.34
IV 教育活動	3.53	3.46	2.53	2.45
V 経営管理	3.38	3.25	2.65	2.26
VI 入学	3.43	3.47	2.67	2.15
VII 卒業・就業・進学	3.22	3.08	2.23	2.02
VIII 地域社会	3.04	2.81	2.31	2.14
IX 研究	2.33	2.25	1.69	1.40
全体平均	3.31	3.07	2.39	2.21

※令和2年度から評価基準を3段階から4段階に変更している。



※ 令和2年度から評価規準を3段階から4段階に変更している。

- 大項目では、IX研究を除き、全て3点以上の評価だった。
- 大項目 I 教育理念・教育目的、II 教育目標、III 教育課程は新カリキュラム構築にあたり、教員が十分な検討を行ったため上昇したと考える。
- III 教育課程のうち、「教員が授業準備のための時間が取れる体制が整えている」は例年低評価となっている。新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、教員の業務が増加しているため、体制の整備が必要と考える。
- V 経営管理は高評価となったが、施設・教材の整備は課題として挙げられている。ICT教育推進に向けて、早急に施設・教材の整備は必要である。
- VI 入学に関しては、評価点としては低くないが、大学の増加等に伴い入学生の確保と併せて質の高い学生を確保することが課題となってくると思われる。
- IX 研究も例年低評価となっている。学校関係者評価にも「コロナ禍だからこそできる研究・報告」ができるように検討していきたい。

4 今後に向けて

令和3年度の取り組み及び自己点検・自己評価の結果を受け、令和4年度は次の取り組みを行う。

- ① 新カリキュラムを予定通りに実施し評価する。
- ② 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- ③ 教員が授業準備のための時間をとれる体制を検討する。
- ④ ICT教育の推進とそれに伴う教材・施設設備の整備を行う。
- ⑤ 地域社会における学校のあり方や活動を検討し、地域貢献できる。
- ⑥ 卒業生の活動状況を把握し、看護基礎教育に反映できる方法を検討する。

現在、第5次カリキュラムを運用に向けて準備を進めている。令和3年度の課題を受け、本校の特徴を活かしながら新しい教育方法を取り入れ、学生の成長につなげていきたい。

併せて学校関係者評価において、いただいた多くの貴重なご意見・評価を踏まえ学校運営全般の質向上を図っていきたい。